

もうすぐ夏休みですが、南高生の皆さんは元気に過ごせていますか。夏休みに入るといつも以上に時間ができますね。せっかくの機会なので、ゆっくり本と向き合っはいかがでしょうか。

1 学期末・夏休みの開館日について

7月：22日、23日、25日、26日、29日、30日、31日

8月：19日、20日、22日、23日

午前11時～午後3時

★これまでに借りた本は、終業式までに返却してください。

★7月19日以降に借りた本は、8月30日まで借りることができます！

夏休みの間も、皆さんの来館をお待ちしております！



【図書委員オススメの本】

今月は、「夏休みにオススメの本」を紹介します！

『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』 汐見夏衛（スターツ出版文庫）



この本は、戦時中の日本にタイムスリップした現代の女子高生と特攻隊員の青年の切ない恋の行方を描いたストーリーです。親や学校の全てにイライラして不満ばかりの主人公、高校生の百合。ある日、進路をめぐって母親の幸恵とぶつかり家出をし、近所の防空壕跡に逃げ込みますが、朝目が覚めるとそこは1945年の6月、戦時中の日本でした。何が起きたのか混乱していた時、偶然通りがかった彰に助けられ、軍の指定食堂に連れて行かれる百合。そこでいろいろな人たちと出会い、日々を過ごす中で、彰に何度も助けられ、その優しさに惹かれていきます。でも彰は特攻隊員で程なく命がけで戦地に飛ぶ運命でした。私はこの本を読んで特攻隊員などあまり深く考えたことがないものに興味を持ち、戦争について考えさせられました。皆さんもぜひ読んでみてください。（担当：平井）

『あなたが誰かを殺した』 東野圭吾（講談社）

私は、東野圭吾さんが書いた「あなたが誰かを殺した」という本をおすすめします。この本は、東野圭吾さんの101冊目の作品で、日本有数のセレブが集まる、夏の別荘地で連続殺人事件が起きます。真相を知るため15人のセレブの秘密を暴いていく物語です。次々に起こる想像もできない事件に遭遇し、謎を解いていくところが見所です。

東野圭吾さんは他にも、素晴らしいミステリー小説をたくさん書いています。それらの多くは、とても面白く、小説を読んでいるときに、何回読んでも同じ気持ちで楽しむことができます。また、ミステリー系の小説なので、好きな人には刺さると思います。特に、謎を解いていくので楽しみながら読み進めることができるのでおすすめです。（担当：八木）





【読み聞かせ活動に行ってきました！】

6月13日（木）に、常盤小学校児童クラブで読み聞かせ活動を行いました。

子どもたちに楽しんでもらえそうな絵本を図書委員が自分たちで選び、心を込めて読み聞かせを行いました。読み聞かせの後は子どもたちと一緒に外で遊び、とても喜んでくれました！2学期、3学期にもそれぞれ1回ずつ行う予定です。



【読書感想文のすゝめ】

夏休みの宿題で、読書感想文を書く人も多いと思います。ここでは、読書感想文にどのようなことを書いたらいいのかを紹介するので、悩んだ人は参考にしてください！

・一番心に残った場面について

どの場面（誰が、どうしているところ）が心に残ったのか。

なぜその場面が心に残ったのか。

・自分も似たような経験があれば書こう！

いつ、どこで、どのような経験をしたのか。

そのとき、登場人物と同じような気持ちになった？

・本を読んで考え方が変わったこと、これからの生活に生かしたいこと

この本をよんで、どのような新しい発見があったのか。どのように考えが変わったか。

これからの自分の生活に、どう生かせるだろうか。



【課題図書】

高等学校の部では、次の本が課題図書になっています。



伊与原新 著
『宙わたる教室』
(文藝春秋)



太田ゆか 著
『私の職場はサバンナです！』
(河出書房新社)



ファン・ヨンミ 作
キム・イネ 訳
『優等生サバイバル：青春を生き抜く13の法則』
(評論社)

*課題図書の本は、図書室にも置いてあります。数に限りがあるので、借りたい人は図書室まで相談しに来てください。

